

発足100周年へのアプローチ

発足99年

第61回

白寿記念

平成二十八年二月二十七日(土) 正午始 於 京都観世会館

正午

番組

舞囃子

絵馬

女性

力神 友枝雄人
天女 内田成信

狩野了一

◎渡部 諭 ◎前川 光範
◎林 大輝 \ 杉信 太郎

佐藤 陽
長島 茂
栗谷 明生
金子 敬一郎

実盛

青木道喜

◎武重 正律 ◎竹村 英雄
\ 帆足 正規

河村和貴
味方 剛
河村晴道
田茂井 廣道

梅

橋本雅夫

◎井林 清一 ◎前川 雪
◎伊吹 吉博 \ 光田 洋一

吉田 篤史
浦部 幸裕
吉浪 寿晃
橋本 光史

ごあいさつ 同明会 理事長 前川光長

独調

白楽天

◎高林 呻二 ◎古田 知英

卒都婆小町

河村和重

◎石井 保彦 ◎竹村 英敏
\ 左 鴻 泰 弘

河村和晃
河村晴道
河村晴久
河村和貴



【能楽囃子方とは】

ユネスコの第一回世界無形遺産に認定されたことで知られるように、能楽は世界に誇る日本の代表的な舞台芸術です。

能楽とは、演劇と舞、音楽(謡・器楽)によつて成り立っている総合芸術です。

その内の器楽を担当する演者を囃子方と言います。

楽器の種類は笛・小鼓・大鼓・太鼓があり、これを総称して四拍子(しびょうし)と言います。

それぞれの楽器に専門の演奏者がいて伝統の奏法を伝えています。

休憩

一調一声 玉鬘

井上裕久

林吉兵衛

雪

雪踏ノ拍子

金剛龍謙

井林久登
林大和

森田保美

宇高德成
今井克紀
今井清隆
宇高竜成

融

白式舞術之伝

浦田保親

谷口正壽
曾和鼓堂
井上敬介
杉信太郎

河村和晃
田茂井廣道
味方團
深野貴彦

三時半

休憩

独調

鉢木

松野恭憲
曾和博朗

太郎坊 大島輝久

足界坊 粟谷能夫

白是界

比叡山の僧 江崎欽次朗

間 茂山七五三

河村大
前川光長
吉阪一郎
杉市和

附祝言

高林呻二
後見 高林白牛口二
狩野了一

地謡

粟谷充雄
友枝雄人
金子敬一郎
内田成信
中村邦生
粟谷明生
出雲康雅
長島茂

終了五時

主催：一般社団法人 京都能楽囃子方 同明会

笛



歌口(息を吹き入れる部分)と指穴の間に薄い管を挿入した「フド」といわれる特殊な構造を持っています。この構造により非常に力強い音色がでます。西洋音楽とは違う音階(五線譜にはあらわれない)が、幽玄の世界へと誘います。

小鼓



調べ緒の張り具合を変えることで様々な音色を奏でられます。裏皮に貼った和紙に湿り気を与えたり、皮に息を吐きかけたりして湿度を調整しながら演奏します。柔らかく妙なる音色が聴力の代表的な和楽器です。

大鼓



小鼓と同じ材質とおなじ構造ですが、乾燥を必要とします。演奏前に皮を炭火にあて乾燥させて、調べ緒をきつく締め上げて粗み穿てます。非常に鋭い音が鳴ります。大変堅い皮を手で打つため、指皮というプロテクターを右手にはめて演奏します。圧倒的な迫力ある音が聞く者を魅了します。

太鼓



太鼓は両手に持った棒で演奏するため、小鼓・大鼓に比べ音の数が多く、曲の終盤のクライマックス部分に演奏します。曲によっては太鼓を使用しない曲もあります。リズム、カルで華やかな演奏法、格好良い打ち様が見る者を惹きつけます。

舞

謡